

歴史・文化とくらし

貝塚市にはどんな歴史があり、それがどう伝えられてきたか、
移り変わっていくのかを考える。

1

貝塚市は古くから人が住んでいたところ？

貝塚にもあった！ 前方後円墳 ぜんぽうこうえんふん

貝塚にある国宝は？ 観音堂（釘無堂） くわんのどう くぎなしどう

1000年を超える歴史を伝える水間寺、〔伝承〕水間寺縁起 みづま であら みづま であらえんぎ

願泉寺と全国有数の寺内町 がんせんじ じないちよう

豊臣秀吉もやってきた！ 貝塚で繰り広げられた戦い とよとみひでよし くりひろ



日本の人口は、2016年で約1億2700万人です。弥生時代には推計60万人くらいの方が日本列島に住んでいたと言われています。今のようにあちこちに人が住んでいたわけではないのですね。



社会の教科書の年表を使って、●古墳のできた時代 ●お寺の建てられた時代 ●戦いのあった時代 を調べると、何がわかるでしょう？ タイムマシンに乗ったつもりで、その時代を想像してみましょう。

人のくらしには交流がある。街道が果たす役割を考えてみましょう。

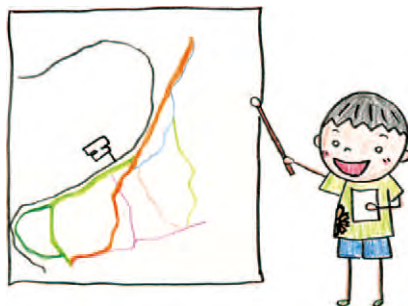
平安時代の貴族も通った信仰の道「熊野街道」 へいあん きぞく しんこう くまの

大阪と和歌山を結ぶ参勤交代の道「紀州街道」 おおさか わかやま さんきんこうたい きしゅう

なぜ？ どうして？ 「貝塚」地名の由来



社会の教科書や地図帳を使って、●どことどこを結ぶ街道か ●地形や街道の果たした役割 ●地名とできごと ●由来や関係 を話し合い、時代の特色を考えてみましょう。鳥になったつもりで、地図帳を見ながらその時代を想像したり、実際に歩いてみましょう。時代を想像してみましょう。



歴史学習の
基本を
使いましょう。

- 年表を読み取る
- 時代とできごとをつなげる
- その時代の特色を考える

- 調べてみよう！
- 想像してみよう！
- 比べてみよう！

歴史・文化を大切にし、伝える方法とは？

2

貝塚 夏の風物詩—盆行事—

伝統を受け継ぐ 貝塚の祭り

人々の暮らしを支えた牛—牛神祭と雨乞い

貝塚市内には、どんな行事があるのか、その由来や現状を、関わっている人に聞いてみましょう。



地域の行事に参加する前に、●行事の始まりを調べる ●どんな風に続いているか聴く ●大切にしていることを聴く 行事は、何を伝えてきたでしょう？ 昔の時代の人と対話する気持ちで、思いや考えを想像してみましょう。

貝塚市は古くから人が住んでいたところ？

3

江戸時代に望遠鏡！？ すごいぞ！ 岩橋善兵衛！

「東洋の魔女」を生んだ繊維産業

こんなに変わった！ 海辺の様子

伝統工芸「つげぐし」は1500年つづくブランド！

世界へはばたく貝塚の工場



この教科書を読んで、●まず、できごとや今を知る ●それが社会に与えた影響 ●その何がすごいのか の3つから、話し合ってみましょう。事実だけでなく、意味や価値を学び自分の未来の姿を想像してみましょう。



時代とともに貝塚市も移り変わってきました。変化は多くの人々の工夫や努力の結果です。そこにはいつも新しい挑戦があります。私たちの貝塚市は日本や世界とつながり、互いに影響を及ぼし合っています。

知

っとQ?

貝塚市には丸山古墳という前方後円墳があります。人が暮らしていた痕跡を探してみましょう。



↑発掘調査で見つかった埴石（約25cmの川原石）と円筒埴輪の列（中央）

● 学び方 確かめよう! ●

古墳時代っていつ頃から始まったのでしょうか。古墳はどのように造られたのでしょうか？



● 学び方 考えおもう! ●

古墳の大きさは、何を表しているのでしょうか。



貝塚にもあった!

ぜんぼうこうえんふん
前方後円墳

地蔵堂にある丸山古墳（国の史跡）は、今から1600年くらい前（4世紀末）に造られた前方後円墳です。

全長約70m、高さ5mで、堺市にある日本最大の大仙古墳（仁徳天皇陵）の約7分の1の大きさです。

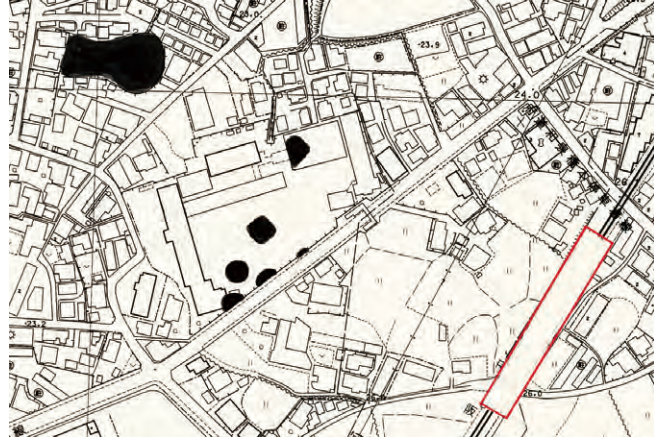
この古墳からは、いろいろな形の埴輪が発見されています。



↑丸山古墳の入口



↑復元された円筒埴輪



↑ 丸山古墳と地藏堂古墳群の位置図

丸山古墳の近くでは、南小学校の敷地から円墳が4基、方墳が2基見つっています。どの古墳も周溝を含めて約15～20mの大きさで、5世紀中頃に造られたものです。周溝からは土器が多数見つっています。

こうした古墳群からは、4世紀後半から5世紀頃、この地に強い力を持つものがいたことが推測されます。

鎌倉時代以降に田畑を作るために墳丘が削られ、現在古墳群の姿を見ることはできません。

↑ 上左／須恵器の器台 上右／須恵器の耳付高坏 下／須恵器の高坏と高坏の蓋



↑ 発掘された円墳



↑ 発掘された方墳

● 学び方 深めよう！ ●



古墳にはどのような形があるのでしょうか。古墳に供えられた遺物には、どのような物があるのでしょうか。

● 学び方 ひろげてみよう！ ●



1585年に豊臣秀吉が根来攻めを行った時に、この丸山古墳が本陣として使われたそうです。なぜここに本陣が置かれたのでしょうか。

貝塚市民図書館の2階に資料室があります。文化財に関する質問に答えてもらえます。

(火曜定休)

行っとQ!



知っとQ?

国宝の釘無堂や貴重な仏像が、今に残っているのはなぜか考えてみましょう。



行基は、聖武天皇の指示を受け、奈良県にある東大寺の大仏の造営にも関わりました。大仏開眼は752年です。

● 学び方 確かめよう! ●

孝恩寺の場所を確認しましょう。

国宝にはどんなものがあるでしょうか。



社会の教科書や地図帳で調べてみましょう。

● 学び方 考え合おう! ●

僧である行基が、なぜ建築を行ったのでしょうか。



視点を変えて、その時代のできごとを見てみましょう。

貝塚にある^{こくほう}国宝は? ^{かんのんどう}観音堂 (^{くぎなしどう}釘無堂)

726年、^{しょうむてんのう}聖武天皇の^{しじ}指示を受けた^{ぎょうき}行基は、^{こつみいたい}木積^{かんのんじ}一帯に^{ぞうえい}観音寺という広大な寺院を造営したと伝えられています。たび重なる^{せんらん}戦乱で当時の建物は消失し、^{げんざい}現在は^{こうおんじ}孝恩寺にある^{かんのんどう}観音堂だけが残っています。

この観音堂は、釘を使わずに建てられたので「釘無堂」と呼ばれています。

観音堂は、^{かまくら}鎌倉時代の終わりに造られた建物です。その時代の^{とくちょう}特徴をよく残していることから国宝に指定されています。
^{おおさか}大阪府の中では、最も古い^{けんちくぶつ}木造建築物のひとつです。



観音堂 (孝恩寺釘無堂) ➡

一方、現在観音堂を守り続けている孝恩寺には、平安時代に造られた19体の仏像が重要文化財に指定され、保存されています。

1585年、豊臣秀吉が紀州根来攻めをしたときに、観音寺の大半は焼けてしまいました。

しかし、当時の人びとは仏像を近くの池に沈めるなどして戦火から守り、その後も大切に伝えてきたのです。

また境内には、1348年に和泉砂岩で作られた、五輪塔があり、大阪府の有形文化財に指定されています。



木造難陀龍王立像



木造跋難陀龍王立像

(それぞれ、水の神である八大龍王のひとつです。)

● 学び方 深めよう！ ●



貝塚市で、行基が行ったことを調べてみましょう。

なぜ、争いに、お寺が関係しているのでしょうか。



地図帳で調べてみましょう。

● 学び方 ひろげてみよう！ ●



水の神について調べてみましょう。どんな仏像が、重要文化財に指定されているのでしょうか。



貝塚市ホームページでくわしく調べてみましょう。

釘を使わずに建てられたお堂が直接見られます！
どんなところが工夫されているか見てみましょう。

行っとQ!



知

っとQ?

奈良時代に行基が建てたお寺の由来から聖武天皇とのつながりを考えましょう。

● 学び方 確かめよう! ●

聖武天皇はどんなことをした人でしょうか？
行基はなぜ庶民から信頼があったのでしょうか。



社会の教科書や資料集で、聖武天皇や行基のしたことを調べましょう。

● 学び方 考え合おう! ●

どうして水間寺という名前になったのでしょうか。
水間寺はどこにあるのでしょうか。



地図帳で探してみましょう。



奈良市から南西の方角にあるか確かめてみましょう。



水間寺の近くには何があるでしょう。



④ 水間寺

1000年を超える 歴史を伝える水間寺



水間寺は744年に創建されました。聖武天皇が42歳のときに病気になり、夢で、「奈良から西南の方角に観音像が出現される。その像を信仰しなさい」というお告げを聞き、庶民から信頼のあった行基に探すことを命じました。

さまざまな苦勞の末、行基がたどり着いたのが水間でした。谷間の水の流れる巨岩の上にいた白髪の老人が一体の観音像を行基に手渡しました。これを持ち帰ったところ聖武天皇の病気が治ったと伝えられています。その後、この観音像をおまつりするために水間寺が建てられました。

今も厄除け観音として多くの人びとから信仰されています。

また、水間寺



には「千本搗餅つき」という行事があります。行基が、水間に案内した童子と一緒に餅をつき供えたのが始まりだと言われています。今も、毎年、正月の2日と3日に、16名の水間の若者たちが、歌やかけ声に合わせて餅をつきます。つきたての餅は、参拝客に振るまわれます。

一方、水間寺にまつわる伝説のひとつに、「お夏清十郎」の話があります。700年ほど前に京から天皇の使者がやってきました。使者を警護する役割をしていた山名清十郎と豪農の娘のお夏が出会い、お互いを思い合うようになりました。間もなく清十郎は京に帰り、お夏は水間寺の境内にある愛染明王に、再会を願って毎晩お祈りしました。すると、南北朝の

戦乱の中で2人はまた巡り合い、水間の地でいつまでも仲良く過ごすことができたそうです。今でも水間寺の愛染堂には縁結びの仏様として愛染明王がまつられています。

水間寺



◀ 水間寺・和泉名所図

● 学び方 深めよう！ ●



「お夏清十郎」の他にも水間寺にまつわる伝説はあるのでしょうか。「千本搗餅つき」はどんな風に行われているのでしょうか。



水間寺について図書館で本を探してみましょう。



郷土資料室に話を聞いてみましょう。



お正月に水間寺に行ってみましょう。

● 学び方 ひろげてみよう！ ●



水間寺はどのように運営されているのでしょうか。水間街道を地図で調べてみましょう。



図書館で調べたり地域の人にインタビューしたりしてみましょう。



調べたことを模造紙にまとめて発表しましょう。

実際にお寺にいったら、なぜ「水間」という名前がついたか考えてみよう。その場所は今はどうなっているかな。

行っとQ!

伝承 水間寺縁起

聖武天皇^{しょうむ てんのう}が42歳^{さい}（743年）のときに、天皇は重い病にかかられました。なかなか治らず、伏せ^ふっておいででしたが、うとうと眠^{ねむ}りにつかれたとき、夢のお告げがありました。「奈良^{なら}の都から西南の方角に、観世音菩薩^{かんぜ おんぼ ざつ}がご出現^{しゅげん}なされる。その観世音菩薩^{そんぞう}の尊像^{そな}を都にお供えしてご信心申せば、天皇の病はたちどころに治る」というものでした。そこで、早速、聖武天皇^{しょうむ てんのう}は勅令^{ちよくれい}をもって、僧行基^{そうぎ}にこの観世音菩薩像^{さう}を探すように命じました。

行基^{ぎょうき}は、観世音菩薩像を求めて奈良の地を出発し、西南の方角にひたすら歩きました。行基を導いたのは、一羽の白鳥でした。貝塚^{かいづか}の地^とに到着^{とく}すると、現在の鳥羽^{とば}のあたりで、白鳥は飛び去ってしまい、行基は道に迷ってしまいました。それでも、白鳥が飛び去った方角を目指して、行基は歩きました。そして、現在の清見^{せみ}の辺^へりで、一人の童子と出会いました。この童子に導かれてたどり着いたのが、現在の水間の地でありました。

当時の水間は、今では想像できないほどの山奥^{やまおく}で、霊^{れい}峰^{ほう}葛城^{かつらぎ}の峰^{みね}からこんこんと流れる水^{みづ}の間に巨岩^{きょがん}がある、

うっそうとした原生林
に囲まれた聖域^{せいいき}でした。
そこへ16人の童子が現
れ、誘^{さそ}うともなく、行
基を谷間へと導きまし
た。



行基が谷に^お降りると、
清い水の流れの中に大
きな岩があり、その岩の上に白髪^{はくはつ}の老人がおりました。そ
の老人の手のひらには、金色に輝^{かがや}く一体の仏像がありま
した。そして、行基に向って「汝^{なんじ}を待つこと久し」といっ
て、自分の手首を自らかみ切って、その尊像を行基に^て手
渡^{わた}しました。そして、老人は、竜^{りゅう}に姿^{すがた}を代え、天に向かっ
て飛び去りました。

行基は、この尊像が観世音菩薩像であったので、急ぎ
奈良の都に持ち帰り、深く信心しました。すると、聖武
天皇の病は、たちどころに治り、天皇は元気になられま
した。

その後、聖武天皇は、再び行基に対して、水間の地に
寺院を建立するように命じられたと伝えられています。

知

っとQ?

行基の開いた小さな寺は、ト半斎了珍を迎えて一向衆の拠点となります。その周辺は、寺内町としてどのように発展したのでしょうか。

● 学び方 確かめよう! ●

一向衆について調べてみましょう。



● 学び方 考えよう! ●

どうして天下統一を進める武将との戦いが起きたのでしょうか。



社会の教科書で調べてみましょう。

● 学び方 深めよう! ●

江戸時代の支配体制の中で、寺内町はどのように発展したのでしょうか。



寺の周辺の町は、何が特別だったのでしょうか。

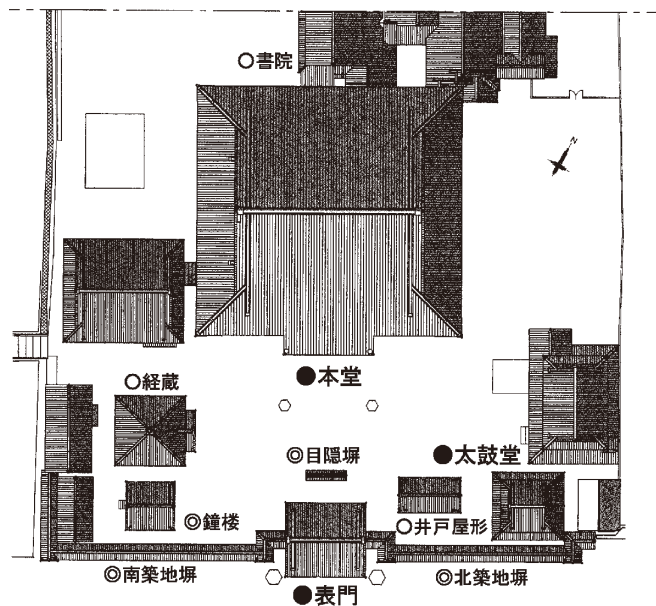


↑ 願泉寺

願泉寺と

全国有数の寺内町

北小学校のすぐ近くにある願泉寺は16世紀後半に大きな勢力を持っていた浄土真宗の中心である本願寺が置かれたことのある由緒ある寺院です。



↑ 願泉寺境内

奈良時代に行基が開いた小さな寺に、1545年、ト半斎了珍が迎えられ、寺は浄土真宗の道場となりました。周辺の町は、「寺内町」として自治が認められ、貝塚のまちのもとになりました。

浄土真宗の大阪（石山）本願寺と織田信長が戦った石山合戦では、貝塚は本願

寺側の拠点となり、天下統一をめざす織田軍と戦いました。

江戸時代には、町は願泉寺の住職である卜半家の領地となり、江戸幕府からも免税など優遇を受けました。

江戸時代の絵図を見ると、寺内町の周囲は海や川で囲まれ、中心を紀州街道が通っていました。また、商工業が発達し、大変なにぎわいを見せていました。

願泉寺には、江戸時代に造

られた本堂などの建物が今も残っており、そのほとんどが重要文化財に指定されています。また周辺の町には、今も当時の様子をうかがえる建物が残っています。願泉寺は、卜半斎にちなんで今でも「ぼっかんさん」の名で親しまれています。

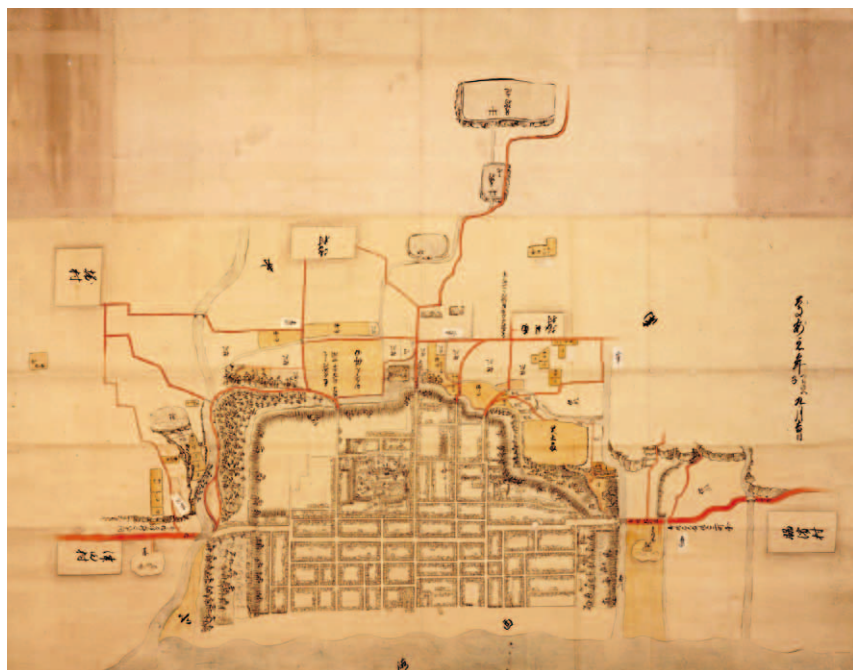


● 学び方 ひろげてみよう！ ●

自治によって、人々のくらしや考え方はどのように変わのでしょうか。



寺内町って？ 重要文化財って？
調べてみましょう。



江戸期の寺内町図（願泉寺所蔵）

願泉寺の周辺の町並みを見てみましょう。当時の様子が残る建物があります。願泉寺の土塀を見てわかることはなんでしょうか。
建物の配置が水間寺とは異なっているのはなぜでしょうか。

行っとQ!

知

っとQ?

貝塚で、秀吉と根来衆が戦い、
講和しました。なぜ貝塚がその
場所になったのか考えてみま
しょう。

● 学び方 確かめよう！ ●

織田信長や豊臣秀吉
の生きた戦国時代とは
どんな時代でしょうか。
城に立てこもった人た
ちにはどんな人たちが
いたのでしょうか。



社会の教科書を調べましょう。



強い勢力を誇る根来衆

根来寺は、和歌山県にありました。朝
廷や幕府から手厚い保護を得て最盛
期には大きな勢力を誇りました。その僧
侶や信者たちを根来衆と呼びました。

● 学び方 考え合おう！ ●

この戦いは避けること
はできなかったのでしょ
うか？
城に入った人たちはな
ぜ戦おうと決めたので
しょう。



根来出城図

(岸和田市教育委員会蔵資料)

とよとみひでよし

豊臣秀吉もやってきた！

貝塚で繰り広げられた戦い

天下統一をめざす豊臣秀吉にとって、
有力な大名ばかりでなく、一向衆や強力
な鉄砲隊を持つ根来寺の僧兵を中心とし
た根来衆も大きな敵でした。根来衆は、近

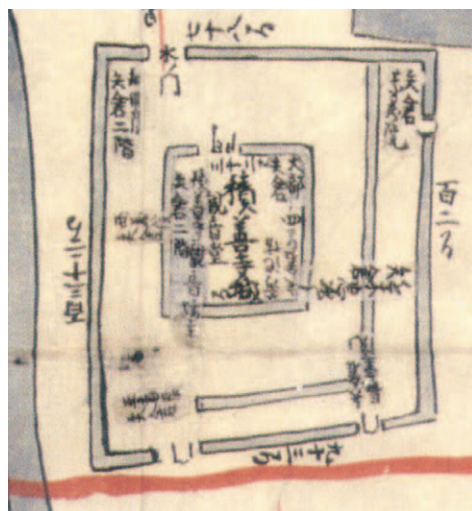


ぎがわ 木川沿いにいくつかの出城や砦を築き、
地元の有力農民らと手を組んで、秀吉軍
と戦いを繰り広げました。

1585年3月21日、秀吉軍は丸山古墳の上
に陣を張り、根来衆の出城への攻撃を開始
しました。出城は次々と攻め落とされ、激
戦となった千石堀城も、秀吉軍から放たれ

た火矢が火薬に引火して大
爆発を起こし、落城しまし
た。水間寺も放火され、塔
や仁王門も消失しました。

そして秀吉軍は、23日夜、一
気に根来寺を焼き払います。
貝塚からも根来の方向の空
が赤くそまるのが見えた
と記録に残っています。



④ 積善寺城跡 (昔の絵地図の拡大版)

● 学び方 深めよう！ ●



話し合いで城を明け渡
して出た人たちはどう
なったのでしょうか。

貝塚のト半斎の活躍

千石堀城の爆発炎上後、近木川沿いの
各出城に立てこもっていた人たちをト
半斎（のちの願泉寺住職）が説得し、
秀吉との戦いは収束されました。城の
明け渡しが行われ、多くの血が流れる
ことが防がれたと言われています。



● 学び方 ひろげてみよう！ ●

戦いの後、どんな時代
が訪れたのでしょうか。

主な出城

橋本の積善寺城、名越の千石堀城・
高井城、畠中城、澤城などがあります。

戦いの場となった城跡を訪ね
てみよう。なぜ多くの城や砦が
できたのか想像してみましょう。



知

っとQ?

人々が世の中への不安から救いを求め、旅をした熊野街道はなぜ信仰の道と言われるのか考えてみましょう。



はさがわ 長谷川の坂

街道を南に進み、近木川にかかる福永橋を渡ると坂道になります。江戸時代からの有名な医師長谷川家の前なので、この名前がついています。昔の道の雰囲気が残っています。



④ 長谷川の坂

● 学び方 確かめよう! ●

熊野街道の全体のコースを調べましょう。どんな人が歩いたのでしょうか。



地図帳を開いてみましょう。

● 学び方 考え合おう! ●

なぜ熊野をめざしたのでしょうか。



● 学び方 深めよう! ●

どんなことを願いながら旅をしたのでしょうか。どんなことを祈ったのでしょうか。



教科書を調べてみましょう。

へいあん 平安時代の貴族も通った しんこう 信仰の道 「熊野街道」

昔から熊野には「神様が住んでいる」と信じられていました。平安時代の頃より、「蟻の熊野詣で」と呼ばれるくらい、人々が行列を作って熊野をめざしました。極楽浄土に対するあこがれが強まり、「幸せになりたい」「元気になりたい」など、さまざまな願いをこめてお参りをしたのです。

京都に住んでいた上皇や貴族たちは、船で淀川を下り、現在の天満橋の八軒家浜から、阿倍野、堺をへて、貝塚市の半田・橋本・王子を通過して和歌山へと向かいました。貝塚市内には、昔の街道の様

子を伝える所が多く残っています。

京都から熊野までの、道中の無事を祈るための神をまつる場所が、街道沿いに決められ、「王子」と呼ばれていました。それらは、たくさんあるという意味で「九十九王子」と呼ばれました。

貝塚市内には、麻生川王子・鞍持王子・近木王子の3か所の王子があったと言われていますが、正確な場所はわかりません。

熊野街道沿いには道しるべとして一里塚が設けられており、半田には当時の面影を残す大阪府史跡「熊野街道半田一里塚」があります。

貝塚を通る熊野街道は熊野詣でのための信仰の道だったのです。

📍熊野街道のなごり道標地蔵



● 学び方 ひろげてみよう！ ●

世界遺産の道「熊野古道」

和歌山県にある熊野三山（三つの神社）に通じる道が熊野古道です。三重県・奈良県・和歌山県・大阪府を通過して、一部が世界遺産に登録されています。



他にも信仰の道はあるのか、調べてみましょう。



📍熊野街道半田一里塚

「一里塚」

一里（約3.9km）ごとに土を盛り、樹木を植えて道しるべとしたものです。

